

瀬祭

西日本豪雨災害で被災された方々に 災害のお見舞い申し上げます

「瀬祭はこりてません」桜井博志会長談

復旧に向けて旭酒造一丸となってスピード復旧へ

生産者通信

NPO法人
米ニケーションセンター
定価 100円(送料込)



旭酒造の対岸の山が崩れ、倒木が橋を塞ぎ、本社蔵に濁流が流れ込みました。電源を喪失しましたが、送電も再開し全社を挙げて事業再開に向け、復旧作業に取り組みんでいます。桜井会長は数々の困難を乗り越えてきまし



た。「瀬祭はこりてません」は生産者の皆様への強烈なメッセージです。ご安心ください。



旭酒造(株)本社社屋前にて

往復
約2,000km

新潟県山田錦協議会夏季研修 20代、30代の若手を中心に 旭酒造、サタケの最先端技術を学ぶ

6月30日から7月2日に、加賀の井酒造、旭酒造、サタケに視察に行ってきました。加賀の井酒造では、復活した蔵を見学しました。旭酒造では、規模の大きな蔵に驚きました。サタケでは、GABAライスのお弁当を頂き、大変美味しかったです。

山田錦研修会に出て、まず参加してとてもよかったと思います。実際に蔵を見れたこと、生産現場、しかも、新潟県産の山田錦の評価を直接聞いたこと、さらに生産開始前からすると評価も上がったことを直接聞いたことは今後の生産に向けてもモチベーションが上がることの一つになったと思います。蔵での、綺麗な社内や生産システムも自らの農場に持ち帰ること、出来るかと考えられました。農家が、旭酒造さんのような倉庫は必

山田錦研修会に参加して (山崎哲志さん)



(株)サタケ 展示スペース

要かどうかはわかりませんが、大きくすることも大切な経営なのかと感じる事ができました。二日目に伺ったサタケさんでは、直接私たち生産者にもかかわることでしたので、初めてのところでしたが、全てが毎日見ている機械ですが新鮮に感じました。今後まだまだ機械も進歩していくと感じましたので、実際見れたこと技術者の方に意見を求めたこと良い経験になったように思います。

これからの生産に直接関わるか、皆さんそれぞれ違うかもしれませんが、今後も良い米を生産していきたいと思えます。

右・山崎さん

